

I 事業期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日(年間活動日数365日)

II 事業の成果

1 ケアプランセンター

(介護保険居宅介護支援)

- ・今年度も地域包括支援センターからの新規の依頼は毎月複数あり、最近では他のケアプランセンターからの依頼も増えている。地域包括支援センターから信頼を得ることで、他のケアプランセンターからの依頼にもつながり、サービス利用人数は安定している。
- ・特定事業所加算の算定要件である会議は引き続き週1回開催。現在対応に悩んでいるケースや安定していて変化がないケースを、今後どのように対応していくか、意見交換を行う事でヒントを得て、ケアマネージャーとしてのモチベーションを維持し、仕事に生かす事ができている。
- ・ZOOM研修が定着していたが、対面で実技やグループワークを伴うの研修が少しずつ再開されている。積極的に研修に参加することでスキルアップできるよう取り組んでいる。

(障がい計画相談支援)

- ・利用者への対応、相談支援については定期的なモニタリング訪問以外の急な要請にも臨機応変に対応し、利用者の安定した生活が続けられるよう努めた。社会資源が限られている中ではあるが、障がい者支援施設やグループホームへの入居支援についても関係機関と連携しながら進めることができた。しかし様々な事情で相談支援の終了者も相次ぎ、それを新規利用者でカバーすることはできず、全体の収入は前年度に及ばなかった。
- ・事業所連絡会への参加で他相談支援事業所との情報共有や、相談支援を続けるうえでの事例研修、その他障がい特性についての研修に参加、知識を深めるよう努めた。
- ・遠隔操作の有効活用で、効率的に仕事を進めることができるようになった。

(ケアプランセンター共通)

- ・コロナウイルス感染予防対策については、昨年に引き続き事業所内での手洗い、うがい、消毒や換気、マスク着用等を行い、また必要に応じて在宅勤務も行っている。
- ・事業全般としては、やはり書類の整備が多いこと、サービス担当者会議の開催期日が集中してしまう事、相談には迅速に対応しているが、施設入所・転院の相談だったり、サービス調整しても急変したり実際の給付に結びつかないケースも多い事から、業務に追われているというのが実感としてあり、ケアマネージャーは誰も余裕がない状態である為、今後はもう少し落ち着いて仕事に取り組めるようになることが必要と考えている。
- ・毎月の定例会にて介護保険居宅介護支援、障がい計画相談支援の双方のサービスについて、地域の動向や制度等の情報交換を行い、ケースについても相談しあうことで質の高いサービスを提供できるように努めた。

2 ヘルパーステーション

- ・ 昨年度に引き続き、コロナウイルス感染症、まん延等重点措置・延長に伴い、事務所に集まったの定例会、スタッフ研修の実施は中止したが、インターネット動画や資料を配布し個々で自宅学習し、レポート提出をしてもらった。
- ・ 登録ヘルパーの事務所への立ち入り等は制限せず感染症予防策をとりながら意見交換等を行った。
- ・ 業務日誌や訪問予定表、実績チェックを電子化する事で事務所詰めヘルパーの仕事の効率化、標準化を図り、お互いがフォローしながら仕事を行う事で業務時間の軽減、休みの取りやすさ(有給休暇)等に繋がった。

3 デイサービスセンター

- ・ 外部ボランティアの受け入れやカラオケは中止したが、コロナ禍であっても利用者様に楽しんでいただけるようなイベントを毎月企画し、実施した。施設行事では夏祭りやクリスマス会等は小規模な形で行った。
8月には利用者様で折った千羽鶴を広島平和記念公園に奉納した。
お風呂のイベントでは菖蒲湯やゆず湯を行い、利用者にとっても喜ばれた。
- ・ スタッフの研修は必要に応じてインターネットの教材を活用し、介護に携わるスタッフ全員が毎月参加できるように行っていたが、R04.11月からデイサービスセンターに集合して行う定例会を再開した。
- ・ 消防訓練の実施、消防用設備の点検を行い、消防署に結果を報告した。
- ・ サンキューネットだよりを毎月発行し、関係者へ配布した。
利用者様に協力していただき、生活介護の新しいパンフレットを作成した。FAXによる営業も再開した。

4 事務局

- ・ 大阪府介護職員処遇改善補助金・コロナ物品支援・ガソリン補助金の申請を行い交付を受けた。
- ・ 大阪府助成金 燃料高騰支援助成・コロナ消耗品助成の申請を行い交付を受けた。
- ・ 社会福祉施設等物価高騰対策一時金の申請を行い交付を受けた。
- ・ 介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算の届け出を行い交付を受けた。
- ・ 毎月運営会議を開催し、各部門や法人全体の実施状況やコロナ対応等見えてきた課題に取り組んだ。意見も活発にでてくるようになり、法人を全体としてみる意識が向上してきた。
- ・ ホームページの更新を随時行った。
- ・ 生活支援センター〔地域活動〕
〔葛城中学校区すこやかネット〕
葛城中学校区すこやかネットの会議・活動に参加し、地域との連携を図った。

今年度も前年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント活動はほぼ中止、もしくは最低必要な人員体制での実施。10月の葛城フェスタ等、協力できるイベントは参加しています。情報誌の発行や会議などは開催されているので、葛城中学校区地域教育協議会のスタッフや葛城中学校の教職員と情報収集等や情報交換などは行いました。

〔高辺プラザ〕

長年毎月開催される「高辺プラザ」に参加し、地域の方々との交流を続けてきたことで、営利目的ではない身近な相談機関として認知されている。

また、「高辺プラザ」の運営に係わる高辺台校区福祉委員会の集まりに参加して、社会資源の情報収集等や情報交換などを行った。次年度は高辺プラザのスタッフとして、地域活動の支援を行っていく予定なので、引継ぎ等の準備を行いました。

〔ちいきつくりたい〕

毎月1回の定例会議に集まり、年間計画のもと地域相談会の企画・運営、ちいきつくりたい便りの発行、事例検討会等を行って、地域福祉のネットワーク化を目指した活動を行った。地域相談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止していた場所があったが、各小学校区においての地域相談会を行う事はできた。ちいきつくりたいでLINEアカウントを作成し、令和3年12月から情報発信を行っていましたが、来年度はちいきつくりたいホームページを作成を予定です。その為の準備として、素材集め等を行っています。

ちいきつくりたいのメンバー(富田林市第3圏域 地域包括支援センターけあばる、在宅介護支援センター錦織荘(錦織荘は令和4年度で終了)・オレンジ荘、富田林市社会福祉協議会CSW、NPO法人シーシータイミング、NPO法人きんきうえぶ、NPO法人サンキューネット)

〔さわやか元気クラブ〕

さわやか元気クラブは平成19年より、高辺台小学校をお借りして、地域活動の一つとして、体操教室を行いつづけています。

体操やレクリエーションを行う場としてだけでなく、友人作りのきっかけの場やどこに相談していいのか分からない事を気軽に相談できる場としての役割を担っている。これまで、福祉委員会等、地域の色々な方にご協力いただき、休むことなく行っていたが、新型コロナウイルスの国内感染が増加に伴い、令和2年3月からさわやか元気クラブの活動を感染状況に合わせた状況で開催しています。今年度はコロナウイルスの感染者増加により、8月のみ休止しましたが、それ以外の月には行う事ができました。

〔校区プログラム〕

各小学校区で行われている校区プログラムの「久野喜台小学校区・地域住民を巻き込もう！」に参画。地域住民や福祉関係者と久野喜台校区の魅力や情報をギュッと詰め込んだマップを作成しています。

〔他団体との連携・交流〕

地域密着型介護老人福祉施設「さえずり」で開催される運営推進会議に出席し、意見交換を行った。

富田林市社会福祉協議会の評議委員会に出席した。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 介護保険及び福祉関連情報の収集及び情報提供

下記(2)の事業を実施するにあたり、有用な情報を収集しサービス提供を行った。

(2) 居宅サービスに関する事業

この事業では、利用者が要介護状態などとなった場合においても、可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるように配慮して、身体介護、その他の生活全般にわたる援助を提供した。

また、総合事業では「介護予防支援」「介護予防ケアマネジメント」のサービス利用者に対して可能な限り支援を要する状態を脱し、また、介護を要する状態にならないよう、共に生活動作を行いながら、利用者の改善の可能性を見つけ、できるだけ利用者が「している生活行為」の幅を広げていくことで、生活機能の向上を図り、利用者と共に利用者の「できること」を発見して引き出し、これを拡大し利用者の主体的な活動と参加を高めることを目指したサービスを提供した。

いずれも地域生活自立支援・法令遵守を基底におき、制度で出来ること・できないことを明確にし、制度外の社会資源を活用したプランを提案するなど、生活に根ざしたサービスとなるよう提供した。

① 介護保険法に基づく指定居宅介護支援・総合事業

内容	要介護者を対象に居宅介護支援サービス(ケアプラン)作成等の提供を、総合事業では、「介護予防支援」「介護予防ケアマネジメント」の受託事業を行った。
実施場所	サンキューネットケアプランセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～16:45) (但し、原則 土・日・祝・12/29～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市等にお住まいの介護保険被保険者

	収入	支出	延べ実利用者数
令和4年度	25,197,254円	25,703,042円	2,392 名
令和3年度	21,680,617円	24,603,458円	2,343 名
令和2年度	18,650,670円	23,656,931円	2,102 名
31(令和1)年度	15,591,658円	20,253,127円	1,749 名
30年度	13,187,426円	16,360,599円	1,636 名

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防ケアマネジメント	49	51	54	53	52	55	51	52	56	54	56	53
介護予防支援	40	39	38	42	42	41	41	40	41	43	46	48
要介護1	42	45	47	49	54	52	50	50	51	50	48	44
要介護2	28	29	31	30	28	27	30	30	31	31	28	27
要介護3	14	14	15	15	14	16	16	15	16	15	17	17
要介護4	8	6	7	9	9	9	10	10	11	12	12	12
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	183	186	194	200	201	202	200	199	208	207	209	203

※ 「介護予防支援」と「介護予防ケアマネジメント」の違い

	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント
対象者	要支援1・2の認定を受けた方のうち、予防給付を利用する方。	<ul style="list-style-type: none"> 基本チェックリストにより「事業対象者」となった方 要支援1・2の認定を受けた方の中、介護予防・日常生活支援総合事業のみを利用する方。

利用できるサービス	・予防給付 ・予防給付 + 介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防・日常生活支援総合事業のみ
要支援1・2の方の場合、その月に予防給付を利用するかしないかによって、「介護予防支援」と「介護予防ケアマネジメント」が月単位で入れ替わることになります。		

② 介護保険法に基づく指定訪問介護・総合事業

内容	訪問介護・総合事業サービス(介護相当)の提供を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市等にお住まいの介護保険被保険者ほか

介護保険	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和4年度	10,381,277円	11,589,591円	2,986 名	2,752.4 時間
令和3年度	9,265,750円	10,063,863円	2,728 名	2,497.8 時間
令和2年度	9,699,604円	9,528,323円	2,698 名	2,546.9 時間
31(令和1)年度	9,459,902円	9,783,403円	2,924 名	2,803.8 時間
30年度	8,420,450円	8,197,413円	2,805 名	2,686.6 時間

介護相当	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和4年度	11,093,417円	12,294,859円	3,020 名	2,711.4 時間
令和3年度	10,542,759円	11,425,200円	2,983 名	2,715.6 時間
令和2年度	8,904,933円	9,418,150円	2,462 名	2,370.1 時間
31(令和1)年度	7,940,052円	8,052,048円	2,231 名	2,165.3 時間
30年度	7,283,374円	7,054,720円	2,157 名	2,088.0 時間

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	17	17	16	19	20	19	15	15	15	16	15	12
要介護2	3	3	6	5	4	3	6	6	6	6	8	8
要介護3	9	10	10	10	8	7	8	8	9	7	7	7
要介護4	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	3	3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	31	32	34	37	35	32	32	31	32	31	33	30

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
要支援1	18	21	21	19	19	19	18	19	18	18	17	16
要支援2	25	24	23	24	25	25	25	26	27	28	29	28
合計	45	47	46	45	46	46	45	47	47	47	47	45

③ 介護保険法に基づく指定通所介護・通所介護相当

内容	通所介護・通所介護相当の提供を行った。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	毎日(9:00～17:00)実施
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市、河内長野市、南河内郡太子町・河南町・千早赤阪村、堺市等にお住まいの介護保険被保険者

	介護保険		介護相当	
	収入	支出	収入	支出
令和4年度	68,958,803円	65,303,358円	1,809,757円	1,600,523円
令和3年度	71,980,510円	64,586,769円	743,116円	793,958円
令和2年度	72,008,724円	65,946,728円	1,254,420円	1,478,825円
31(令和1)年度	66,010,789円	60,859,586円	1,745,806円	1,609,291円
30年度	72,014,868円	66,623,699円	1,527,825円	1,406,499円

通所介護(相当)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	31(令和1)年度	30年度	29年度
延べ利用者数	7,115名	7,359名	7,503名	7,491名	8,101名	8,156名

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要支援2	3	2	3	4	4	4	5	5	5	4	4	4
要介護1	9	9	10	13	11	12	10	12	8	8	6	7
要介護2	11	13	11	12	11	12	12	13	13	11	9	10
要介護3	18	16	15	15	15	14	13	16	16	17	16	15
要介護4	16	16	14	14	14	12	14	13	12	12	12	16
要介護5	4	4	4	5	4	3	4	4	4	4	5	5
合計	62	62	58	64	60	58	59	64	59	57	53	58

④ 障害者総合支援法に基づく生活介護(共生型)サービス事業

内容	利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事の介護、授産活動の機会の提供等を行った。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市・堺市美原区等にお住まいで障がい福祉サービス(地域生活支援)受給者証をお持ちの方

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	8	7	8	9	9	8	10	9	9	9	10	9
内授産活動利用者数	5	5	5	5	5	5	6	5	5	5	5	4
令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	9	8	8	9	9	8	8	9	8	8	6	8
内授産活動利用者数	6	5	5	5	6	6	6	6	4	4	4	4
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数				1	4	4	5	6	7	7	8	8
内授産活動利用者数				1	3	2	3	4	5	6	7	5

生活介護	収入	支出	内 授産活動工賃
令和4年度	11,116,742円	10,852,394円	377,800円
令和3年度	9,492,579円	8,943,649円	281,800円
令和2年度	3,937,234円	3,900,008円	114,300円

⑤ 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業

内容	障がいにより介護の支援が必要な方(身体・知的・精神・難病等)を対象に、ホームヘルプサービス(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)およびガイドヘルプサービスの提供を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市・堺市美原区等にお住まいで障がい福祉サービス(地域生活支援)受給者証をお持ちの方

居宅介護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和4年度	2,141,294円	2,600,752円	662名	679.0時間
令和3年度	3,708,906円	4,106,450円	954名	1,097.0時間
令和2年度	5,138,970円	5,600,929円	1,295名	1,478.8時間
31(令和1)年度	4,461,634円	4,524,566円	1,074名	1,158.1時間
30年度	5,308,677円	5,142,017円	1,323名	1,409.6時間

重度訪問介護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和4年度	501,550円	612,993円	84名	153.0時間
令和3年度	435,955円	551,645円	82名	154.5時間
令和2年度	349,127円	338,090円	63名	120.5時間
31(令和1)年度	320,772円	325,297円	53名	108.5時間
30年度	500,276円	484,571円	115名	201.8時間

同行援護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和4年度	651,548円	406,320円	157名	147.0時間
令和3年度	307,330円	276,310円	52名	80.0時間
令和2年度	586,223円	559,835円	35名	120.5時間
31(令和1)年度	484,849円	495,856円	49名	156.5時間
30年度	304,306円	294,752円	32名	123.5時間

移動支援(ガイド)	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和4年度	39,000円	242,877円	42名	23.0時間
令和3年度	41,000円	268,856円	39名	21.5時間
令和2年度	84,000円	58,634円	44名	41.0時間
31(令和1)年度	421,000円	426,938円	144名	209.3時間
30年度	822,000円	796,194円	245名	408.0時間

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居宅介護	12	9	12	10	10	9	10	12	11	13	13	13
重度訪問介護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
同行援護	2	3	3	3	2	4	3	3	2	3	2	3
移動支援(ガイド)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	16	14	17	15	14	15	15	17	15	18	17	18

⑥ 障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業

内容	障がいにより介護が必要な方の在宅支援のため、適切な福祉サービス利用ができるよう、サービス等利用計画(案)の作成・計画相談支援等を行った。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	9:00～17:00 但し、原則 日曜日・祝日および12/30～1/3を除く

事業の対象者	主に富田林市にお住まいの障がい者
--------	------------------

	収入	支出	延べ利用者数	年度末実利用者数
令和4年度	6,111,633円	7,381,051円	438名	80名
令和3年度	6,754,989円	8,268,770円	467名	96名
令和2年度	6,514,298円	7,997,512円	410名	85名
31(令和1)年度	5,632,788円	7,439,713円	409名	78名
30年度	5,774,020円	7,608,677円	366名	74名

実績請求件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	41	35	34	37	33	40	41	33	34	42	39	29
令和3年度	42	42	35	40	35	46	41	35	35	41	40	35
令和2年度	37	37	41	38	41	43	43	34	32	40	38	40
31(令和1)年度	34	36	33	36	35	35	38	30	32	35	34	32
30年度	31	28	26	25	33	31	32	33	29	35	33	30

⑦ 児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業

内容	障がいにより介護が必要な方の在宅支援のため、適切な福祉サービス利用ができるよう、サービス等利用計画(案)の作成・計画相談支援等を行った。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	9:00～17:00 但し、原則 日曜日・祝日および12/30～1/3を除く
事業の対象者	主に富田林市にお住まいの障がい者

	収入	支出	延べ利用者数	年度末実利用者数
令和4年度	2,201,741円	2,775,984円	149名	17名
令和3年度	2,336,128円	2,997,454円	153名	13名
令和2年度	3,467,975円	3,295,914円	170名	17名
31(令和1)年度	2,575,800円	3,392,444円	165名	20名
30年度	1,411,966円	1,842,424円	106名	13名

実績請求件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	12	15	15	13	12	15	13	12	14	11	11	6
令和3年度	12	14	15	14	15	14	13	12	13	13	12	6
令和2年度	14	14	15	15	14	15	16	13	15	15	15	9
31(令和1)年度	13	11	14	12	12	16	15	13	15	16	13	14
30年度	8	7	10	7	5	10	6	5	13	13	9	13

⑧ 市町村福祉施策に基づく受託事業

1) 高齢者見守り訪問事業

内容	富田林市からの受託事業。 家に閉じこもりがちな方、見守りが必要な方などを訪問して、安否の確認を行ったり、相談や話し相手などを通して、介護予防や必要なサービスに繋ぐなど、他機関との連携を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	月曜日から金曜日9:00～17:00 (但し富田林市役所のカレンダーに準ずる年始年末及び祝祭日休み)
事業の対象者	富田林市民で高齢者見守り訪問を給付決定された方

見守り訪問	収入	支出	延べ利用者数
令和4年度	74,600円	233,475円	76名
令和3年度	91,800円	220,412円	129名
令和2年度	144,200円	152,414円	196名
31(令和1)年度	147,000円	149,642円	111名
30年度	243,400円	525,477円	299名

2) 認定調査

内容	市町村からの調査依頼に基づき、介護が必要な方のお宅に訪問し、要介護(要支援)認定の調査を行った。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	月曜日から金曜日(但し年始年末及び祝祭日休み)

介護保険	収入	支出	延べ件数
令和4年度	464,300円	479,258円	115件
令和3年度	328,000円	464,586円	82件
令和2年度	384,000円	466,015円	96件
31(令和1)年度	840,600円	1,083,035円	210件
30年度	455,880円	561,721円	113件

⑨ 制度外在宅福祉サービス

1) たすけあい訪問サービス

内容	“困った時はお互い様”の精神のもと、公的福祉制度や介護保険制度で対応できないサービスについて要介護者・要支援者を支援し、ご家族の支援を含めた視点で、自立支援をベースとした訪問サービスの提供を行った。また、成年後見人や日常生活自立支援事業の金銭管理を受けておられる方で、ヘルパーの買物支援が必要な方の金銭を預り、入出金の記録(領収書添付)をまとめ、報告義務者宛に報告を行うといった支援も行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市等にお住まいの方

	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和4年度	425,400円	278,817円	151名	179.0時間
令和3年度	329,500円	331,563円	144名	143.3時間
令和2年度	440,254円	553,744円	168名	171.3時間
31(令和1)年度	770,880円	781,752円	340名	328.0時間
30年度	1,087,800円	1,053,650円	483名	544.3時間

2) たすけあいデイサービス

内容	“困った時はお互い様”の精神のもと、必要な方に必要なサービスを提供できるよう、介護保険限度枠を超えて要介護者を支援し、ご家族の支援を含めた視点で、地域生活自立支援をベースとしたデイサービスやお食事の提供を行った。また緊急時や必要な時にいつでも利用できるお泊りサービスを実施。通所介護・生活介護ご利用者の食事提供も行っている。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00)
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市等にお住まいの方

	令和4年度		令和3年度		令和2年度		31(令和1)年度	
収入	4,943,960円		5,301,420円		5,364,710円		4,626,570円	
支出	4,243,263円		4,721,343円		4,571,764円		4,264,792円	
延べ利用者数	デイ	70名	デイ	14名	デイ	82名	デイ	68名
	ショート	383名	ショート	773名	ショート	1,178名	ショート	771名

* デイ延べ利用人数は、限度枠内デイサービス及び生活介護の食事提供者数を除いた人数

- (2) リサイクルに関する事業
実績なし
- (3) 本会の目的を達成するための研修・啓発など
実績なし
- (4) その他、目的を達成するために必要な事業
事務局活動

1 地域活動

- 「さわやか元気クラブ」を定点で実施し、地域とのつながりの中で介護予防・相談支援等に取り組んだ。
- 富田林市第3圏域「地域づくりたい」に協働参加し、包括支援センター等との連携を図り、地域支援を行った。定例会議(毎月)・出張相談会・事例検討会・広報紙作成等を共に行った。
- 「高辺プラザ」に参加し、地域の方々との出会いを通して、地域に密着した相談支援機関として活動した。
- 富田林市内の各小学校区で地域のみなさんが主体となり、その地域の理想を描き、話し合いを重ねています。理想の実現を進める取り組みとして、校区プログラムを企画。その企画を実施していく為の会議「久野喜台校区交流会議」に参加しました。

2 事務局

実施場所	特定非営利活動法人サンキューネット 事務局	
実施日時	1年を通じて実施	(但し、日曜日および12/31～1/3を除く)
	法人事務および本会の目的を達成するための事業	
収入	369,000 円	会費・寄付金・助成金等
支出	4,383,781 円	人件費3,919,175円、その他経費464,606円

IV 総会の開催状況

- ① 第22回定期総会
- 日時 令和4年5月18日 午前10時～
 - 場所 サンキューネット・デイサービスセンター
 - 社員総数 56名
 - 出席者数 56名 (書面評決者を含む)
 - 議案の内容
 - 令和3年度事業報告
 - 令和3年度収支決算報告、並びに監査報告
 - 令和4年度事業計画案について
 - 令和4年度予算案について
 - 議事録署名人の選出の件
 - 審議結果
全員異議なく承認。

V 理事会その他の会議の開催状況

1. 令和4年度理事会

- 1) 日時 令和5年4月23日 午前9時から
- 2) 場所 サンキューネット・ヘルパーステーション
- 3) 出席者数 7名(委任状を含む)
- 4) 議案 総会議案書について
- 5) 審議結果 全員異議なく承認。

2. 運営会議

年間を通して毎月1回定期開催

メンバー； 事業ごとの管理者、サービス提供責任者

内容；

各部門の事業実績報告、今後の取組みなど、情報交換を行っている。

各部門間の相談・助言の場としても機能している。

3. 定例会

各事業部門毎に、年間を通して毎月1回定期開催

メンバー； 各事業部門のスタッフ

内容； 運営会議の報告、意見交換、情報交換、研修等を行っている。